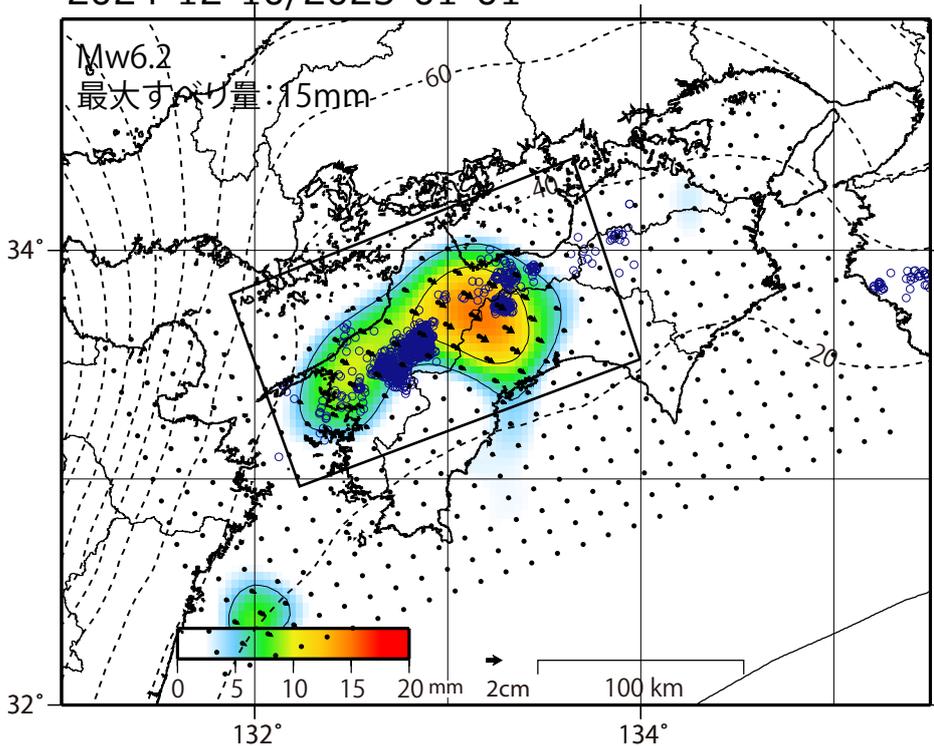
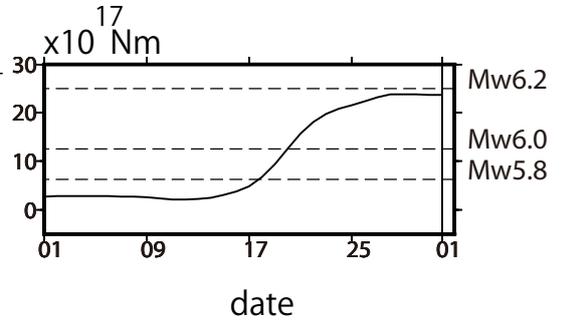


GNSSデータから推定された  
四国西部の深部低周波地震(微動)と同期したゆっくりすべり(暫定)

2024-12-10/2025-01-01



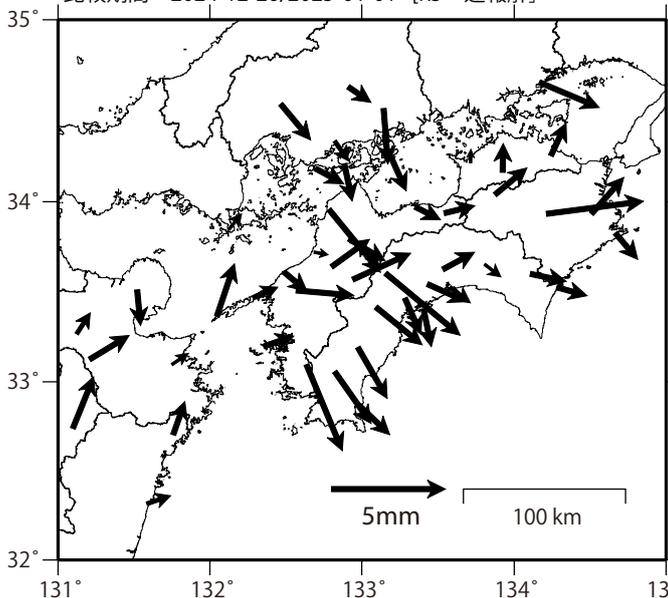
モーメント時系列図



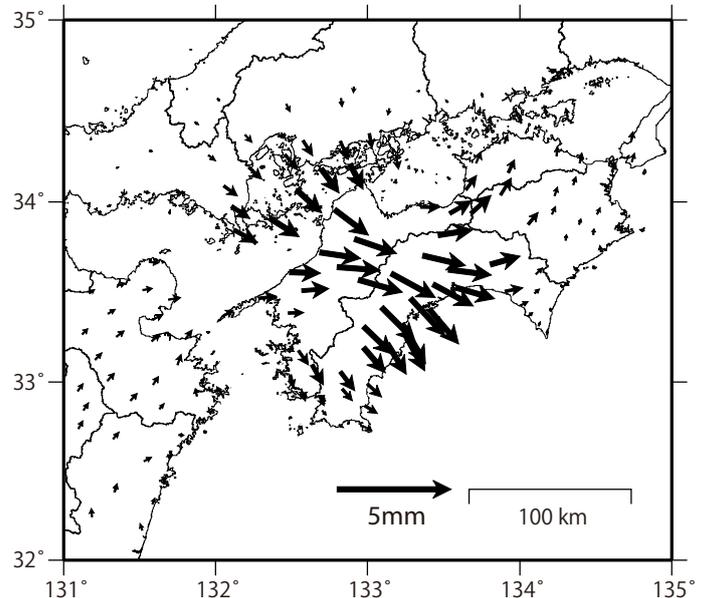
Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量(カラー)及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差( $\sigma$ )の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

観測

基準期間：2024-11-01/2024-12-10 [F5：最終解+R5:速報解]  
比較期間：2024-12-26/2025-01-01 [R5：速報解]



計算



解析に使用した全観測点の座標時系列から、共通に含まれる時間変化成分は取り除いている。  
また、基準期間と比較期間の間のオフセットをRamp関数で推定し、東西、南北のAICを合わせたAICで有意でない観測点は除外している。

解析に使用した観測点の範囲：概ね北緯32~34.6°東経131~134.8°

使用データ:GEONETによる日々の座標値(F5解、R5解)

F5解(2024-11-01/2024-12-14) + R5解 (2024-12-15/2025-01-01)

\*電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間：2017-01-01/2018-01-01 (年周・半年周は 2017-01-01/2025-01-01の

データで補正) モーメント計算範囲：図の黒枠内側

黒破線：フィリピン海プレートの上面の等深線(Hirose et al., 2008)

すべり方向：プレートの沈み込み方向に拘束

青丸：低周波地震(気象庁一元化震源)(期間:2024-12-10/2025-01-01)

コンター間隔：5mm

固定局：三隅